

エコ新田「みらい」

発行元・ URL : <http://www7a.biglobe.ne.jp/~NITTA-MIRAI/>

《平成 26 年度 NPO 新田環境みらいの会》定期総会開催されました。

期 日 平成 26 年 5 月 24 日 (土) 15 時～

開催場所 新田勤労会館・大会議室

恒例の定期総会が開催されました。事業計画、役員改選等が検討され、審議の結果全て提案通り全員の賛成で成立致しました。神岡理事司会・西村理事議長進行で審議内容は以下の通りです。

- 第 1 号議案 平成 25 年度事業報告 (神岡理事)
- 第 2 号議案 平成 25 年度会計決算及び財産報告 (高井理事)
- 第 3 号議案 監査報告 (太田監事)
- 第 4 号議案 平成 26 年度事業計画 (神岡理事)
- 第 5 号議案 平成 26 年度予算 (高井理事)
- 第 6 号議案 理事・監事選任の件 (椎名理事)
- 第 7 号議案 その他 (椎名理事)

議事終了後、理事の紹介と、参加者の自己紹介が行われ終了となりました。



西村理事長挨拶



総会参加者みなさん記念写真

新年度にあたり 理事長 西村 豊



NPO法人新田環境みらいの会は 5 月 24 日に定期総会が開催され平成 25 年度の事業報告と平成 26 年度の計画が承認され新年度がスタートしました。

本年は役員改選期で長い間活躍して頂いた赤穂さんと深澤さんが退任され、新しく酒井謙二さんと若林憲子さんが就任しました。赤穂さんと深澤さんは発足以来会の発展に寄与して頂き感謝しております。また酒井さん、若林さんには会の活動に新風を吹き込んで頂きより発展をしていきたいと考えています。

今年度は昨年に引き続き、湧水地の保全、地球温暖化防止、ゴミの削減等を中心に活動して行きます。「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」については地元の方や関係者と意見交換し整備の方向を検討し、「モニタリングサイト 1000 里地調査一般サイト」では本格的な調査を開始します。

地球温暖化防止やゴミの削減活動は県や市の事業に協力し啓発活動やイベント会場での PR 活動を進めて行きます。

これらの活動は会員の皆様の参加によって成り立ちますので積極的な参加をお願い致します。

役員名簿

平成 26～27 年度理事

(任期：平成 28 年 5 月 31 日)

役職名	氏名	報酬	備考
理事	西村 豊	無	理事長
理事	神岡 好夫	無	副理事長
理事	椎名 美雄	無	
理事	高井 護	無	
理事	染野 徹	無	
理事	酒井 謙二	無	
理事	若林 憲子	無	
監事	太田 晴久	無	
監事	長谷川直禧	無	

新任理事のあいさつ



会員の皆様こんにちわ。理事に就任しました酒井です。新田環境みらいの会とは、旧新田町役場そして太田市役所での退職までの3年間関わらせていただきました。

みらいの会は、発足から今に至るまで様々な変遷がありましたが、西村会長を中心に会員皆様のご努力により、活動が継続されていること自体、世界遺産に匹敵するぐらいの評価と同時に、この活動に理事として参加させていただき感謝しております。

この会は、地道な活動が中心ですが、みなさん楽しんでやりましょう。

酒井 謙二



新田環境みらいの理事就任について

理事 若林憲子

会発足から十年を超えた昨年、活動の中心的存在だった深沢さんが病に倒れてから約一年が経過しました。私たち会員は、深沢さんの快気を期待し、一日も早い理事への復帰の報告がもたらされることを祈念しておりました。

しかし、残念ながら今日までその朗報がないまま時間が過ぎていきました。そこで、今年度は深沢さんの代役として私、若林が理事という大役を拝命することとなりました。会の継続のためにも、深沢さんを見習い、いつも笑顔を絶やさず、きめ細やかな対応を心がけ、大役を全うできるよう、自分なりに努力したいと思います。会員の皆さま、どうかご指導、ご協力をお願い致します。

《平成26年度・生品小学校土曜スクール》

『第1回』 開催日時 5月17日9時～ 開催場所 生品行政センター

生品小学校では土曜スクールという、課外授業を行っています。授業課題の中に環境をテーマにした授業で有り、今年で9年目を迎えました。今年の生徒さんは4名ですが、今回も「環境みらいの会」が担当させていただきます。

授業は環境問題を対象にした、様々の課題を楽しく考えながら学ぼうというものです。

第1回目は年間の予定を説明した後、高い理事の紙芝居で「ゴミはほんとにゴミかな？」で選別すれば資源や、自然界の動物や植物を守ることの大切さを学んで頂きました。他、ゲームで水はどこから来てどこへ行くの？や、マイバックづくりを行い楽しい授業となりました。



平成26年度土曜スクール開講式



マイバックづくり

『第2回』 開催日時 6月14日9時～ 新田勤労会館他
内容：身近な水環境の全国一斉調査（内容の詳細は次ページ）

太田市立生品小学校児童を対象とした土曜スクール

新田環境みらいの会 会員 若林憲子

当会のイベントの中でもすっかり恒例となった土曜スクールは、9年目を迎えました。学校側は当初から当会の趣旨や理念を理解し協力して頂いています。

その結果、児童は地域の自然環境を目の当たりしながらも、学校の授業とは異なり、ありきたりの授業とは全く異なったものだと感じ取っているのではないのでしょうか。それは、学年を超えた児童と教員が、学校の成績や点数には直結しないものの、予測も出来ないような結果が生まれているからです。

例えば、土曜スクール開催の度に、管理職の校長先生や教頭先生を始め、多くの教職員の方々が引率を買って出て頂いています。そして、そのことは、当会員達にとっても事業運営に対してスムーズな進行が可能になり、9年もの長きに亘り継続されてきたのです。

今回参加した児童数は4名です。その内訳は、1年生は男子が2人、4年生は女子が1人、6年生は男子が1人と少数でしたが、孫のような児童達とつかの間の交流時間を楽しむことが出来ました。中でも、今回参加した6年生の児童は土曜スクール4年間も通い続けてくれた顔なじみの小学生です。このことは、当会にとっても手応えのある貴重な事業だといえるでしょう。

そこで、当会は、顔なじみの生徒の行動を通して、一人でも多くの児童・生徒が、地域にある自然や生物、環境等に興味を持って触れ合うことができるような機会を設定し、この土曜スクールにも気軽に参加できるよう、われわれ自身もっと研鑽を重ね、学校の職員の方たちと協力し、連携しながら、内容についても創意工夫をしていくことが重要でしょう。

《第11回身近な水環境の全国一斉調査実施》

開催日時 6月14日(土)9時～

開催場所 新田勤労会館大会議室

水質調査対象箇所 「太田市内河川・新田湧水地」

今年も恒例の太田市内の河川や湧水地 35ヶ所の水質調査を行ないました。生品小土曜スクールの生徒さんも調査に参加して、楽しみながら湧水の濁度を測定しました。毎年雨中の行事になっていましたが、今年は快晴で汗を流しながら通木(廣瀬さん宅で)採水を行い、勤労会館戻りパックテストを行いました。当日の調査内容が6月24日の上毛新聞に掲載されました。

2014年(平成26年)6月24日(火曜日) (日刊)

旧新田町地区の水源地の保全活動に取り組む太田市のNPO法人「新田環境みらいの会」(西村寛理事長)は、太田生品小の児童4人と協力して同地区周辺の泉や河川の水質を調査し、身近な水問題について思いを巡らせた。

調査には15人が参加し、約30カ所で水を採取した。子どもたちは同市新田野井町のわき水を担当し、バケツやひしゃくですくい取って市新田勤労会館に持ち帰った。

到着後は西村さんに教えてもらいながら、薬品を使って水中の有機物を測定する児童

わき水の成分調査

「採取した水は」値が低かった。このままの状態ですべていかにいいとけない」と表情を引き締めていた。

調査は「全国水環境マップ実行委員会」が環境月間(6月)に合わせて取り組む「身近な水環境の全国一斉調査」の一環。同NPOは2008年から協力し、近年は太田生品小と連携している。

6月24日 火曜日



小学生のパックテストを見守る会員



賛助会員の協力も頂きました。



ガンバッタ生品小生徒さん達と

第11回身近な水環境の全国一斉調査結果

平成26年6月14日実施
NPO法人新田環境みらいの会

河川名	市町名	地点名	気温(°C)	現地水温	COD	判定
湧水地	太田市	矢太神沼	24	18	0	○
	太田市	重殿	28	18	1	○
	太田市	団蔵坊	31	20	1	○
	太田市	風吹沼	31	20	1	○
	太田市	美濃谷戸沼	28	23	1	○
	太田市	妙参寺沼	27	23	0	○
	太田市	一の字池	29	18	0	○
	太田市	通木	28	15	0	○
	太田市	谷地池	28	22	2	○
	太田市	羅釜	28	20	1	○
	太田市	清水	30	18	0	○
	太田市	裏沼	26	18	1	○
	太田市	天沼下沼	31	20	1	○
	太田市	桜の井戸	23	15	1	○
	太田市	金龍寺井戸	25	16	0	○
桐生市	弘法の泉	25	15	0	○	
石田川	太田市	新田橋	29	20	1	○
	太田市	新宝橋(大川合流前)	29	21	2	○
	太田市	東橋(国道354号)	30	22	3	○
	太田市	古利根橋	30	22	3	○
大川	太田市	長堀用水合流点直前	29	21	2	○
	太田市	まほろば橋	28	20	4	△
	太田市	みょうこうじ橋	29	21	4	△
早川	太田市	早川大橋	30	20	3	○
	太田市	三ツ木北(天沼からの水	28	20	2	○
	太田市	前島橋	27	21	4	△
蛇川	太田市	蛇川橋(石田川合流点)	30	22	3	○
聖川	太田市	東橋(石田川合流点)	30	23	3	○
休泊川	大泉町	利根川合流前	30	23	3	○
長手川	太田市	ぐんまこどもの国	25	19	2	○
長堀用水	太田市	大川合流点直前	29	21	1	○
高寺川	太田市	石田川合流点	28	21	3	○
利根川	太田市	刀水橋	31	21	2	○
利根川	太田市	新上武大橋	32	22	3	○
渡良瀬川	みどり市	貴船橋	28	18	2	○
八瀬川	太田市	石田川合流点	28	22	4	○

* CODはパケットテスト(3回)による値

《レジ袋削減の店頭啓発活動に参加》

平成 24 年度群馬県の 1 人 1 日当たりの一般廃棄物の排出量は 1,059g で全国 45 都道府県のうちワースト 3 となっています。太田市は 1,056g、群馬県の 35 市町村中 19 位でほぼ平均値です。

群馬県は 6 月の環境月間に当たり環境団体と協力して「レジ袋削減」の店頭啓発活動を行いました。当会もこの事業に協力し、6 月 12 日のアピタ笠懸店と 6 月 18 日のベイシア太田モール店で県や市の担当者と PR を行いました。当会の女性陣は大活躍し、県の担当者からもお礼を頂きました。

参加者の感想

小澤さん：マイバックに関心を持っている人は約半数くらいでした。また都合が付けば参加したいと思います。

石原さん：毎日の生活に欠く事の出来ないスーパーマーケットで、この度マイバック推進の店頭啓発に参加しました。消費者の方も喜んでくれ本当に楽しい一時でした。これからも地球を守る身近な活動ですので、また参加したいと思います。



アピタ笠懸店



ベイシア太田モール店

カッコソウを訪ねて

カッコソウは、桐生市・みどり市周辺の山地のみに自生するサクラソウ科の植物です。近年その自生地が激減し、環境省のレッドリストに選定されていましたが、平成 24 年には、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種に指定されました。現在、自生地におけるカッコソウの生育数は 800 個体とされています。

昨年桐生市で開催されたシンポジウムに参加し、一度見たいと思っていましたがネットで今年は早く咲いているとの情報がありましたので 5 月 12 日にカッコソウの自生地の鳴神山に登ってきました。川内の登山口に 9 時頃到着しましたが駐車場は県外の車も多く既に満車。

ガイドの方の案内で路肩に駐車し案内図をもらって上り始めました。

一部倒木がある険しい道を登り 1 時間 30 分位で鳴神山の頂上に着きました。

曇り空でしたが桐生市の市街地を始め、太田の金山や赤城山、浅間山、男体山等も見えすばらしい景色でした。一休みしてからカッコソウの自生地に向かい約 30 分で目的地に着きました。平日にも係わらず多くの方が鑑賞していました。カッコソウは思ったより少なかったですが希少で可憐な花が鑑賞でき楽しめました。 西村



会報「エコ新田みらい」の原稿、ご意見は西村理事長及び、広報担当まで連絡宜しくお願い致します。
広報担当 連絡先 椎名 美雄 「E-mail:shiina_y@cameo.plala.or.jp」